

No.	CO4
タイトル	国際通り線シンボルロード整備事業について
所属・名前	沖縄県 土木建築部 道路街路課 仲嶺 智
キーワード	① 観光スポット ③ 住民参画 ③トランジットモール
<p>沖縄県那覇市の国際通りについては、戦後の焼け野原からの復興のシンボリックな存在であり、昭和47年の日本本土復帰後は観光需要の高まりと相まって、国内外から訪れる観光客の観光スポットとしての役割を担ってきた。</p> <p>一方、交通需要の高まりに伴い渋滞は慢性化し、近年、中心市街地の空洞化も懸念されることから、新たなまちづくりが求められることとなった。</p> <p>そのため、事業の実施に当たっては、沿道の住民参画のもと多くの意見を取り入れるとともに、祭りなどの各種イベントにも対応できるように整備を行なうこととした。</p> <p>完成後は異国情緒にあふれ活気に満ちた街並みに変貌を遂げ、週末はトランジットモールの実施など中心市街地の活性化にも寄与する通りとなっている。</p>	